トイレ物語

道の駅のトイレは24時間対応。長時間のドライブで我慢の限界に達した時、なんとかぎりぎり間に合ってほっとした人も多いはず。そんなトイレを全国的視野で見渡すと、各地にユニークな施設を備えた道の駅が次々と出現。近年は災害時の対応策などを考慮したトイレも増えてきている。年を追うごとに進化し続ける道の駅のトイレを特集する。

題して「道の駅トイレ物語」――。

小見出しは、トイレの特徴、道の駅の所在地、駅名、駅の電話番号の順。文末のカッコ内は高速道路ＩＣから道の駅への主なルート

1 料亭風な手水庵　長崎県松浦市

松浦海のふるさと館　☎0956・72・2278

トイレの入り口にあるのは「手水庵」と刻まれた石の門標。思わず立ち止まってしまうほどで、料亭に入るような雰囲気。庭園風の中庭もあって、奇麗と評判。

「集客できる施設を」という発想から、道の駅開設当時は竜宮城風のトイレを目指したとか。その後、紆余（うよ）曲折を経て和風に落ち着いた。

道の駅は国道204号、国道バイパスの合流部にあり、福岡方面から平戸への観光ルートの中間地点に位置している。（西九州道佐世保三内ＩＣからＲ204）

2 日本一思いやりのあるトイレ　福岡県豊前市

豊前おこしかけ　☎0979・84・0544

国道10号沿いの道の駅。日本に道の駅構想が誕生する以前、「トイレを中核にした地域おこしの拠点をつくろう」という発想からスタートし、2000年にオープンした。

トイレに着目したのは、市内に東陶機器（ＴＯＴＯ）関連会社やトイレットペーパー製造の大分製紙の工場があったため。開設にあたりＴＯＴＯはプロジェクトチームも設置した。

5000坪の敷地の中央がトイレ。テント式の屋根は昼は自然光を通し、夜は道の駅の照明を取り入れている。美化にも心を配り、「日本一おもいやりのあるトイレ」を標榜（ひょうぼう）している。（九州道小倉東ＩＣからＲ10）

3 ミュージックトイレ　高知県四万十町

四万十大正　☎0880・27・0088

眼下に最後の清流、四万十川を望む駅。川辺までの下り口も整備され、川べりの散策もできる。

トイレに入ると、センサーが反応し、歌手、さとう宗幸さんの歌う四万十町大正地区のイメージソング「四万十の青き流れ」が流れる。さとうさんが同地区を訪れた際に、依頼して完成した曲だという。

駅ではこの歌のカセットテープを１本500円で販売中。（高知道須崎東ＩＣからＲ381）

4 中国の御殿風　兵庫県相生市

あいおい白龍城　☎0791・23・5995

彩色豊かな中国風の外観が特徴的な、あいおい白龍城駅のトイレ。

「ペーロン」は中国発祥のボートレースで、17世紀に長崎に伝わった。長崎出身の造船所従業員が当地に伝え、相生ペーロン祭りのメーンイベントとなっている。

元々は天然温泉とレストランが併設された施設だったが、24時間対応のトイレと休憩所を開設し、02年に道の駅となった。（山陽道竜野西ＩＣからＲ２経由Ｒ250）

5 オランダ風のトイレ舎　滋賀県高島市

しんあさひ風車村　☎0740・25・6464

琵琶湖畔にある道の駅。88年、水質浄化のための電力を自然エネルギーでまかなおうと発電機能を持つ風車が設置され、景観整備としてオランダ風車が設置された。

トイレ舎＝写真㊤＝はレストラン、売店とおそろいの淡いピンク色＝同㊦＝で、メルヘンチックな雰囲気を醸し出している。

お隣の花しょうぶ園のトイレは、地球にやさしいバイオトイレ。（名神高速京都東ＩＣから湖西道路経由Ｒ161）

6 織部焼レリーフ　岐阜県土岐市

土岐美濃焼街道　☎0572・59・5611

ふた付きどんぶりの外観でその名も「どんぶり会館」がメーン施設。館内の女性トイレは、一流ホテル並みのカーペット敷き。更衣室と３席のパウダールームも付いている。

24時間対応の屋外トイレは小どんぶりの形。内外装には、館内、屋外とも織部焼のレリーフで飾られ、屋外トイレ入り口には美濃焼の陶芸作品が展示されている。美濃焼の陶器に季節の花を飾る心遣いも。（中央道土岐ＩＣからＲ21経由多治見恵那線）

7 断水時も利用できる　富山県高岡市

万葉の里高岡　☎0766・30・0011

04年の中越地震では、多くの被災者がトイレの悩みに直面した。その教訓を踏まえて災害時に避難拠点となれるよう整備された道の駅。

断水時には汲み取り式に切り替えて利用できるようにした。また非常用発電装置や消雪用井戸水の「ろか装置」も備え、災害時の拠点として、地域の期待を集めている。（能越道高岡ＩＣからＲ８）

8 御影石でゴージャス　長野県中条村

中条　☎026・267・2188

長野五輪開催決定を機に整備されたオリンピック道路（長野―白馬）沿いの道の駅。床、天井、壁の隅々まで総御影石造りで、利用者を驚かせる。

工費は１億円。御影石を利用したのはゴージャス感を出すためかと思いきや、「維持管理が楽だったから」と当時の村の担当者。

タイル造りだと目地に汚れがたまるなどして掃除が大変だが、御影石だと水を流せばＯＫだという。（長野道更埴ＩＣからＲ19経由長野大町線）

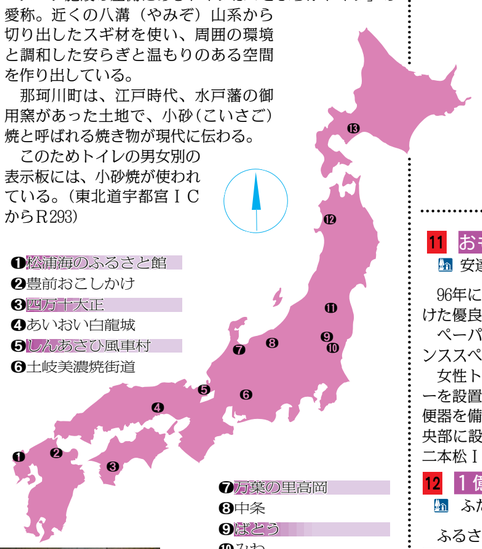
9 きよらかトイレ　栃木県那珂川町

ばとう　☎0287・92・5757

メーン施設の左側にあるトイレは「きよらかトイレ」の愛称。近くの八溝（やみぞ）山系から切り出したスギ材を使い、周囲の環境と調和した安らぎと温もりのある空間を作り出している。

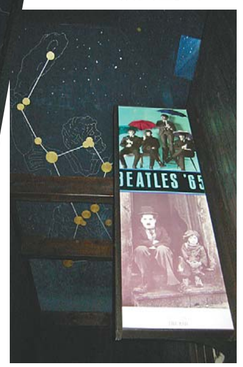
那珂川町は、江戸時代、水戸藩の御用窯があった土地で、小砂（こいさご）焼と呼ばれる焼き物が現代に伝わる。

このためトイレの男女別の表示板には、小砂焼が使われている。（東北道宇都宮ＩＣからＲ293）



10 満てんトイレ　茨城県常陸太田市

みわ　☎0295・58・3939



道の駅のある同市美和地区は空気が澄んで星空がよく見える街。駅のメーン施設は「みわ★ふるさと館北斗星」、そのトイレは「満てんトイレ」。

名前の通り、トイレの天井には星座。入り口は、男子がジェームス・ディーンやチャップリン、女子がＡ・ヘプバーンやグレース・ケリーらのポスターのコラージュで表記されている。

星（スター）とポスターをかけた洒落（しゃれ）だそうだ。（常磐道那珂ＩＣからＲ118経由Ｒ293）

11 おもてなしトイレ　福島県二本松市

安達・智恵子の里　☎0243・61・3100

96年に日本トイレ学会からグッド10トイレ賞の表彰を受けた優良トイレ。

ペーパーの交換を個室の外側からできるよう、メンテナンススペースを設置するなど工夫がいっぱい。

女性トイレには一度に５人が使用できるパウダーコーナーを設置、個室にはベビーベッドもある。子供用の小さな便器を備えた個室も。洗面台はよくある壁際ではなく、中央部に設置され、荷物を台において手を洗える。（東北道二本松ＩＣからＲ４）

12 １億円トイレ　秋田県能代市

ふたつい　☎0185・73・5075

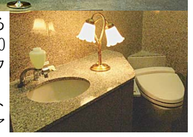
ふるさと創生事業の１億円を投入し整備した通称「１億円トイレ」。女子トイレにはベビーベッドが設置され、子供用トイレもある。

今ではありふれた設備だが、92年の開業当時は先進的だった。男子用には、前面がガラス張りで開放感に浸れるトイレも３器ある。

同市二ツ井町は「きみまち恋文全国コンテスト」が行われる恋文の町として知られる。県立自然公園「きみまち阪」は駅から徒歩５分。（秋田道二ツ井白神ＩＣからＲ７）

13 グランドピアノ　北海道伊達市

フォーレスト276大滝　☎0142・68・6041



伊達市内から支笏湖へ抜ける国道沿いにある駅舎は全長200㍍、と世界最大級のログハウス。

男子23器、女子13器と広いトイレのそばには、グランドピアノが鎮座、曜日ごとに癒やしの音楽を奏でる。鑑賞用の座席もあり、〝ほっと〟した後に耳を傾けて行く人も多い。トイレの床も大理石の豪華版。女子トイレにはパウダールームもある。（道央道伊達ＩＣからＲ453経由Ｒ276）

橋がつなぐ　みんなの未来
社団法人　日本橋梁建設協会
http://www.jasbc.or.jp/

橋がつなぐ みんなの未来

Bridges bring our brighter future. vol.5

橋は、産業や生活文化に貢献し、時として人の暮らしをドラスティックに変えることもあります。華やかな伝統の祭りの舞台にもなっている橋を紹介します。

あなたの「橋の物語り」をお寄せください。

読者の皆さまのご当地自慢の橋をご紹介ください。
橋にまつわる詩やエピソード、こぼれ話など、橋にまつわる事なら大歓迎です。

宛先
〒105-0001
東京都港区虎ノ門4-1-1
虎ノ門パストラル内
NPO人と道研究会
「橋がつなぐ みんなの未来」係

竜神大吊橋（ryujin-otsuribasi）　茨城県常陸太田市

鯉のぼり舞う大吊橋

「中空の散歩道」竜神大吊橋は茨城県常陸太田市の竜神峡に架けられています。眼下はV字形の渓谷の流れをせき止めた竜神ダム。

橋の長さは375m、歩行者専用の橋としては本州一の長さを誇り、ダム湖面まで100m、大自然の空間を舞い上がる竜を思わせる吊橋です。一度に3500人が渡っても大丈夫!!

対岸には、愛・希望・幸福の3種類のカリヨン施設があり、このうち愛の鐘は2人でボタンを押さないと鳴らない仕組みで、カップルに人気があるそうです。

竜神大吊橋の観光客は年間35万人、橋を渡った人は24万人ほど。

春は1000匹の鯉のぼりが吊橋を彩り、夏の灯篭まつりでは幻想的な装いを現します。

秋には橋の上から八溝、阿武隈山系の紅葉を堪能でき、厳寒期の2月に開催の「すいふ蕎麦まつり」では橋を渡った人は特別メニュー200円引きのうれしいサービスもあります。

column 橋をめぐるならわし

橋姫と渡り初め

橋が完成すると三代夫婦による「渡り初め」をするならわしがあります。一家三代の健在なご夫婦が完成したばかりの橋を一般の人に先駆けて渡り、その完成を祝い安全長寿を祈願するものです。

奈良・平安時代には、橋姫の存在が信じられていました。橋姫には洪水や戦乱から橋を守る魔力を秘めていて、橋の守り神だったそうです。橋姫を橋の向こう側の社（やしろ）に鎮めるのが渡り初めの原型ともいわれています。

昔から橋は人の暮らしを根本から変える物でした。橋を失うことの重大さを身をもって知る人々の自然の力に対する畏敬の念から橋姫がつくられ、渡り初めの儀式が根付いたといわれています。江戸時代になり三代夫婦による渡り初めが広がったとされ、近年では鼓笛隊のパレードなどイベント的な風潮が強くなり、儀式的な色合いが薄れてきています。

幌平橋（北海道札幌市）

平成大橋（群馬県前橋市）

長生橋（chosei-hashi）　新潟県長岡市

ナイアガラ大滝布の華麗な舞台

日本で一番長い川・信濃川にかかる新潟県長岡市の長生橋（ちょうせいばし）は、1934（昭和9）年に竣工しました。下路カンチレバートラス形式の重厚さと繊細さを併せ持つ外観はカメラマンに人気の長大橋です。

長岡といえば長岡まつりが有名で、およそ180年の歴史と伝統があり、8月2、3日に開催される花火大会では600mの高さで打ち上げる場面は圧巻です。

長岡花火の人気の秘密は華麗な花火と優雅な長生橋とのコラボレーションといわれています。長生橋に大きな光の滝が流れ落ち、背後に上がる尺玉の連発、浮かび上がる長生橋のシルエット。

長生橋がなかったら魅力も半減？長生橋は、この伝統の花火文化に溶け込んでいるのです。

（橋長850m）と隣の大手大橋が舞台となれ延長650メートルの大瀑布が川面に流れ落ち、2晩で100万人近い観光客が歓声をパッと広がる三尺玉とナイアガラ大瀑布が目玉。アガラ大瀑布は長生橋

正三尺玉とナイアガラ（長岡まつり大花火大会）